



# 平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社 大庄  
 コード番号 9979 URL <http://www.daisvo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平 辰  
 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	18,428	△0.5	△210	—	△242	—	△261	—
24年8月期第1四半期	18,520	△4.8	△138	—	△210	—	174	—

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 △254百万円 (—%) 24年8月期第1四半期 169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	△12.63	—
24年8月期第1四半期	8.67	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第1四半期	49,438	25,977	52.3	1,249.19
24年8月期	50,547	26,397	52.0	1,269.60

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 25,838百万円 24年8月期 26,261百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	5.00	—	8.00	13.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,200	0.2	1,050	3.6	970	8.0	500	△19.4	24.17
通期	78,200	0.2	2,300	3.1	2,150	4.4	925	4.6	44.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	21,198,962 株	24年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	514,388 株	24年8月期	514,388 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	20,684,574 株	24年8月期1Q	20,084,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）におけるわが国経済は、復興関連需要等を背景に景気の緩やかな回復が期待されたものの、欧州財政危機の長期化やアジア経済の成長鈍化などから世界経済の減速感が広がり、また円高の継続による輸出の不振や個人消費の足踏みが続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業での収益力の安定基盤づくり」を最重要経営課題として認識し、店舗リニューアルの強化、「Q.S.C（クオリティ、サービス、クレンリネス）」のレベルアップ、「お客様満足度の向上」に向けた社員教育の強化・徹底、こだわり食材やイベント企画の充実など、既存店対策を中心に様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開においては、当社グループで新規出店を4店舗、店舗改装（業態転換を含む）を3店舗、店舗閉鎖を3店舗で行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ0.5%減少の18,428百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比97.9%と減少したことが影響し、売上高は前年同期に比べ1.7%減少の15,926百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上増加等により、売上高は前年同期に比べ13.5%増加の923百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ8.3%増加の243百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.6%減少の95百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.0%増加の1,239百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業損失は210百万円（前年同期は営業損失138百万円）、経常損失は242百万円（前年同期は経常損失210百万円）、四半期純損失は261百万円（前年同期は四半期純利益174百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,540百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,069百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,240百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は34,898百万円となり、前連結会計年度末に比べて38百万円減少となりました。これは、敷金及び差入保証金が42百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,878百万円となり、前連結会計年度末に比べて415百万円減少となりました。これは、未払法人税等が233百万円減少したこと及び1年以内長期借入金が138百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,582百万円となり、前連結会計年度末に比べて272百万円減少となりました。これは、長期借入金が428百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は25,977百万円となり、前連結会計年度末に比べて420百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや四半期純損失の計上等により利益剰余金が426百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社の事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期(9~11月)の収益構造としては、売上高が他の3四半期間に比べて少なく、利益面については構成比率が大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期(12~2月)の売上高及び利益構成が非常に大きなウエイトを持っております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,339	10,098
売掛金	2,410	2,436
商品及び製品	444	491
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	184	199
繰延税金資産	554	638
その他	957	969
貸倒引当金	△281	△293
流動資産合計	15,609	14,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,527	8,324
機械装置及び運搬具(純額)	285	306
工具、器具及び備品(純額)	748	751
土地	9,256	9,256
リース資産(純額)	1,451	1,588
建設仮勘定	18	37
有形固定資産合計	20,288	20,265
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	27	23
その他	174	171
無形固定資産合計	1,114	1,108
投資その他の資産		
投資有価証券	167	175
出資金	6	6
長期貸付金	49	43
差入保証金	7,447	7,426
敷金	4,396	4,375
繰延税金資産	1,266	1,292
その他	414	418
貸倒引当金	△215	△214
投資その他の資産合計	13,534	13,524
固定資産合計	34,937	34,898
資産合計	50,547	49,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,414	2,377
短期借入金	3,265	3,275
1年内返済予定の長期借入金	2,004	1,865
1年内償還予定の社債	675	675
リース債務	543	593
未払金	2,729	2,647
未払法人税等	345	111
未払消費税等	368	323
賞与引当金	234	151
株主優待引当金	95	73
店舗閉鎖損失引当金	29	27
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	16	4
その他	494	672
流動負債合計	13,294	12,878
固定負債		
社債	3,732	3,732
長期借入金	2,618	2,189
リース債務	1,067	1,138
退職給付引当金	1,219	1,222
役員退職慰労引当金	504	513
受入保証金	555	555
資産除去債務	1,143	1,159
その他	12	70
固定負債合計	10,855	10,582
負債合計	24,149	23,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,704	8,277
自己株式	△602	△602
株主資本合計	26,636	26,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	66
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△375	△370
少数株主持分	136	138
純資産合計	26,397	25,977
負債純資産合計	50,547	49,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
売上高	18,520	18,428
売上原価	6,571	6,752
売上総利益	11,949	11,675
販売費及び一般管理費	12,087	11,886
営業損失(△)	△138	△210
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
その他	23	19
営業外収益合計	26	22
営業外費用		
支払利息	44	36
貸倒引当金繰入額	6	3
その他	47	14
営業外費用合計	98	54
経常損失(△)	△210	△242
特別利益		
固定資産売却益	5	—
受取補償金	73	—
特別利益合計	78	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	23	26
店舗関係整理損	31	4
減損損失	45	18
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3
特別損失合計	100	54
税金等調整前四半期純損失(△)	△231	△297
法人税、住民税及び事業税	71	74
法人税等調整額	△467	△113
法人税等合計	△396	△38
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	164	△258
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174	△261

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	164	△258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	4
その他の包括利益合計	4	4
四半期包括利益	169	△254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	△256
少数株主に係る四半期包括利益	△9	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,200	813	224	101	17,340	1,180	18,520	—	18,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2,702	144	—	2,850	264	3,114	△3,114	—
計	16,203	3,515	369	101	20,190	1,444	21,635	△3,114	18,520
セグメント利益又は損失 (△)	97	144	56	81	379	△7	372	△510	△138

注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△510百万円には、セグメント間の取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において45百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,926	923	243	95	17,188	1,239	18,428	—	18,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	2,640	150	—	2,796	251	3,048	△3,048	—
計	15,932	3,563	393	95	19,985	1,490	21,476	△3,048	18,428
セグメント利益又は損失 (△)	△47	166	81	73	274	10	285	△496	△210

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△496百万円には、セグメント間の取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において18百万円であります。

以上